

営農技術情報

—畑作（大豆②）—

令和2年 6月10日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524
JA道北なよろ TEL01655-3-2521
JA道北なよろ営農センターTEL01654-3-4307

～除草剤散布により、生育初期の雑草を抑えましょう！～

1 生育経過

断続的な降雨と他の作物の植付作業の遅れにより、大豆のは種作業は平年より遅くなりました。

<名寄市全体のは種状況(6月1日現在)>

	は種始	は種期	は種終	出芽始	出芽期	開花始
本年	5/17	5/23	(6/ 5)	(6/ 6)		
平年	5/10	5/14	5/27	5/28	5/31	7/15
遅速	遅7日	遅9日	—	—		

※()内の数値は、6月1日現在での見込み。

2 除草剤の散布について

は種作業からすでに日数が経っているほ場もありますが、除草剤の使用時期を確認し、遅れないように散布しましょう。

① 土壌処理剤（ビンサイド乳剤、フルミオWDG、フィールドスターP乳剤）

ほ場表面が乾いていると効果が低下します。土壌水分確保のため、は種後に鎮圧するとともに、降雨前もしくは、晴天が続く場合は夕方から早朝にかけて表層に「水上がり」の見られるタイミングを利用して散布を行うようにしましょう。

② パワーガイザー液剤

土壌処理と雑草発生後の茎葉処理効果を併せ持つ除草剤です。大豆の出芽前に土壌処理ができなかった場合や、土壌処理剤の効果が不十分な場合にも散布可能です。

なお、初生葉（子葉の次に出てくる葉）抽出後は薬害が発生しますので、使用時期を守って散布しましょう。また、有機リン系殺虫剤またはイネ科雑草処理剤との10日以内の近接散布は、薬害の恐れがあるので避けましょう。展着剤は不要です。

【除草剤の使用法】（令和2年度JA農作物施肥・病虫害・雑草防除ガイドより）

処理	除草剤名	対象雑草	使用時期	10a 使用量	回数
土壌	ビンサイド乳剤	シロザ タデ類 ハコベ	は種後2～5日 (雑草発生前)	330～ 400ml	1
	フルミオWDG		は種後出芽前 (雑草発生前)	5～10g	1
	フィールドスターP乳剤	一年生 イネ科	は種後 (雑草発生前)	75～ 120ml	1
土壌 茎葉	パワーガイザー液剤	シロザ タデ類 ハコベ	出芽直前～出芽揃 (雑草発生始期～発生揃期)	200～ 300ml	1

※10aあたり水量：フィールドスターP乳剤は70～150L、その他は100L。

◎ 農薬は使用基準を守り、農薬飛散に注意しましょう ◎